



平成 26 年 3 月 24 日

各 位

会社名 カゴメ株式会社
代表者名 代表取締役社長 寺田 直行
(コード番号 2811 東証・名証第1部)
問合せ先 コーポレート・コミュニケーション本部
IR部長 曾根 智子
(TEL. 03 - 5623 - 8501)

社外取締役候補者の選任に関するお知らせ

カゴメ株式会社(代表取締役社長:寺田直行、以下「当社」)は、3月20日開催の取締役会において、社外取締役候補者について、下記の通り決定致しましたのでお知らせ致します。本件は、平成26年6月18日開催予定の第70回定時株主総会の承認を経て正式決定する予定です。

当社は、「開かれた企業」という企業理念のもと、「経営の透明性の実現」「経営責任の明確化」「スピーディーな意思決定」「経営監視機能の強化」をコーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方としています。

2013年度からスタートしている中期経営計画「Next50」においては、社外からのガバナンス強化を目指し、取締役の報酬の透明性、妥当性を確保するため、社外の人材による報酬委員会を設置するとともに、取締役に対するストックオプション制度も導入致しました。合わせて、品質保証に関しても社外の有識者を登用し、客観性を確保しています。

また、当社では、2001年度より「ファン株主政策」として、個人株主の拡大にも積極的に取り組み、2013年9月末時点で194,060名の株主に支えられ、そのほとんどが個人株主です。多くの個人株主が経営を監視することで、より透明度の高い経営が出来る体制を構築しています。

今般の社外取締役3名の選任により、従来から取組んできたガバナンス強化に加え、社外取締役3名それぞれの持つ知見を最大限経営に活かします。中期経営計画「Next50」の重要なテーマである、グローバルブランドへの成長、人材のダイバーシティ、トマトの新たな価値提案“トマト・ディスカバリーズ”、それぞれの課題に対応した社外取締役を選任することで、中期経営計画「Next50」の達成に向けて取組んで参ります。

記

1. 社外取締役候補者の氏名および略歴、選任目的

近藤誠一 (こんどうせいいち 1946年3月24日生)

近藤文化・外交研究所代表、外務省参与(国連安保理非常任理事国選挙担当大使)

【略歴】

1972年 外務省入省

1975年 外務省海外広報課

1988年 外務省国際報道課長

1999年 OECD(経済協力開発機構)事務次長

2003年 外務省文化交流部長

2008年 ユネスコ世界遺産委員会日本代表（オブザーバー）

駐デンマーク特命全権大使

2010年 文化庁長官

2013年 同退官

【選任目的】

カゴメグループでのグローバルなトマト事業は、トマトの生産・一次加工・二次加工・販売というリソースを垂直統合して保有しているという点で、世界でも非常にユニークな存在です。その強みを活かし、トマトに関する商品やサービスを世界的に、総合的に提供する「トマトのワンストッププロバイダー化」を目指しています。同氏の中央省庁での豊富な海外経験や経済への知見を活かして、当社の海外事業拡大を促進致します。

※なお同氏は、株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員の要件を満たしており、同取引所に届け出る予定です

橋本孝之（はしもとたかゆき 1954年7月9日生）

日本アイ・ビー・エム株式会社 取締役会長

【略歴】

1978年 日本アイ・ビー・エム株式会社入社

1993年 日本アイ・ビー・エム情報システム株式会社 東京首都圏営業統括本部第二営業部部長

2000年 取締役 ゼネラル・ビジネス事業部長

2003年 常務執行役員 BP&システム製品事業担当

2007年 専務執行役員 GTS（グローバル・テクノロジー・サービス）事業担当

2008年 取締役 専務執行役員 営業担当

2009年 代表取締役社長

2012年 取締役会長

【選任目的】

カゴメグループでは、最大の経営資源である「人」のグローバルでの最適化を目的に、グループ内の人材・業務を把握したうえで、職務や責任の重さに応じ、グローバル基準値で評価・処遇することを目指しています。グローバルにビジネスを展開しているIBMは世界各地で社員を雇用し、ダイバーシティについて世界でも先進的で、一貫した考えを持っています。同氏のダイバーシティへの知見を活かして、人材や働き方の多様化によって変化に強い組織にするとともに、多様性を持った人材の最適配分を可能にする新たなグローバル人事制度を設計・導入していきます。

※なお同氏は、株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員の要件を満たしており、同取引所に届け出る予定です

明関美良（みょうせきみよ 1980年3月24日生）

マルトモ株式会社 代表取締役社長

【略歴】

2004年 マルトモ株式会社入社

2010年 マルトモ株式会社 専務取締役

2011年 マルトモ株式会社 代表取締役社長

【選任目的】

カゴメは、トマトのおいしさ・楽しさを新発見・再発見してお客様にお届けしていく活動“トマト・ディスカバリーズ”を展開しており、トマトに含まれるグルタミン酸は、洋風だしとして、トマトの様々なメニュー提案に活用しています。マルトモ株式会社は、かつお削りぶしをはじめとする、水産天然資源を利用した商品開発に取り組んでおり、かつおに含まれるイノシン酸という成分は、和風だしのもととして、日本人にとって馴染み深い素材です。“日本人の伝統的な食文化”が世界的に注目される中、かつお、トマト、それぞれの自然由来の「旨みだし」を活かして、商品開発・研究等に取り組むことで、トマトだけでは成し得ない「和食」も合わせた新しい価値を世界中の顧客に提案し、グローバルな“トマト・ディスカバリーズ”を更に推進していきます。また、同氏を選任することで、弊社にとっては初めての女性役員となります。

以上